

発行所  
日刊自動車新聞社  
東京都港区芝大門1丁目10番1号  
電話 東京(03)5777-2351代表  
©日刊自動車新聞社2021

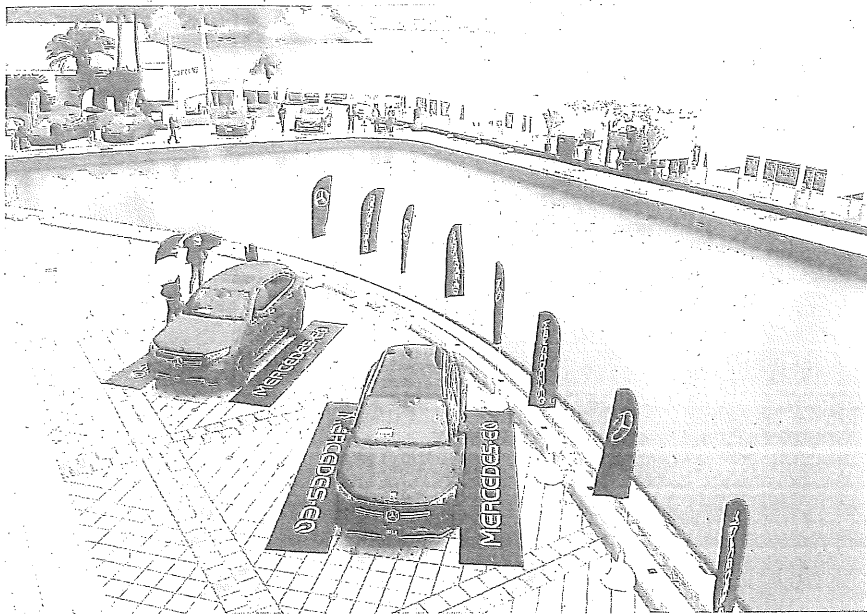
11月2日  
(火曜日)



国産EV・FCVも注目を集めた

逗子のビーチに電気自動車(EV)が集結。リビエラ逗子マリーナ(神奈川県逗子市)で31日、SDGs(持続可能な開発目標)に関する企業・団体の取り組みを紹介する「第3回リビエラSDGsフェス」が開催された。特設ステージでは国内外のEVや燃料電池車(FCV)10台超が展示されたほか、クリーンモビリティに関するトークイベントなども実施され、雨模様ながら近隣住民など多くの来場者が次世代車を間近で体

# 逗子にEV10台超がずらり



湘南の海を背景にEVが勢揃い

## 「第3回リビエラSDGsフェス」

験した。  
車両展示には、国内外の6ブランドが出演。日産自動車「リーフ」やトヨタ自動車のFCV「ミライ」などの国産車のほか、正式発表を控えるBMWの新型車「iX」「iX3」など海外ブランドのEVも揃い踏みした。主催したリビエラグループの斉藤光貴

支配人によると、同施設ではこれまでにもEVの紹介など、環境対応を前面に打ち出したイベントを開催していたが、EVだけで10台超が展示されたのは初めてだという。

「EQA」「EQC」を展示したメルセデス・ベンツ日本(上野金太郎社長、東京都品川区)の担当者は、「これまでにも業界団体が主催したEV展示などはあったが、商業イベントとして顧客と触れ合える機会は貴重。逗子地域は家計に余裕があり環境意識も高い層が多く、輸入EVへの関心掘り起こしにつながるのでは」と話し、来場者から価格や性能などに関する質問に直接応じられるイベントの重要性を強調した。

地元ディーラーとして参加した横浜トヨペット(宮原漢二社長)などウエインズグループ3社は、県が認定する「かながわSDGsパートナー」としてグループで実施するSDGs推進の取り組み

# 多くの来場者が次世代車を体感



正式発表前の車両も特別展示

や、展示車種唯一のFCVであるミライを訴求。神奈川県産(横山明社長)も、受注が堅調な「アリア」のさらなる認知向上や新規ユーザーとの接点拡大など、リアルイベントならではの手応えを示した。

リビエラグループでは今後も春、秋の年間2回を目安に同様のイベントを実施する方針で、「テーマや展示内容は柔軟に設定していく」(斉藤支配人)考えだ。